

CW-K80

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

本製品を使用したディスク*への印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。

すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証はいたしません。

また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。

* CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディア

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RCA502998-001V01

はじめに

お使いいただく前の注意事項を説明しています。

準備編

電源の接続やインクリボンカセットの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

データ作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面の明るさ、印刷の濃さ、音の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

CASIO

ご 注意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2006 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのインクリボンカセットを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのインクリボンカセットはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書はCW-K80について説明しています。
同梱のソフトウェアについては、「CD-ROM収録のPDFファイル取扱説明書」をご参照ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

⚠ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

⚠ 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

電源コード／ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 必ず専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

電源コード／ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ACアダプター／USBケーブルは使
いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火
災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 🚫 • 重いものを乗せたり、加熱しない
- 🚫 • 加工したり、無理に曲げない
- 🚫 • ねじったり、引っ張ったりしない
- ❗ • 電源コード／ACアダプター／USBケーブルの
プラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカ
シオテクノ修理相談窓口に連絡する

電源コード／ACアダプター／USBケーブルについて

- 🚫 • 濡れた手で電源コード／ACアダプター／USB
ケーブルやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。
- 電源コード／AC アダプター／USBケーブルは水
のかからない状態で使用してください。水がかかる
と火災や感電の原因となります。
- 電源コード／AC アダプター／USBケーブルの上
に花瓶など液体の入ったものを置かないでくだ
さい。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損
や、破裂による火災・けがの原因となります。次のこ
とは必ずお守りください。

- 🚫 • 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- ❗ • 極性(＋とーの向き)に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

🚫 本機を落としたときなど、破損したまま使用する
と火災・感電の原因となります。すぐに次の処置
を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理
相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

🚫 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・
けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または
カシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入る
と、火災・感電の原因となります。すぐに次の処
置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理
相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

 本機を火中に投入しないでください。破裂による
火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

 本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりし
ないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意

電源コード／ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ACアダプター／USBケーブルは使
いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあ
ります。次のことは必ずお守りください。

-  • ストーブ等の熱器具に近づけない
- 電源コード／USBケーブルのプラグを抜くときは、
電源コード／USBケーブルを引っ張らない(必ず電
源コード／USBケーブルのプラグを持って抜く)
-  • 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実
に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは電源コード／
USBケーブルのプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は、ACアダプター／USBケーブルのプラ
グをコンセント／コネクターから抜く
- 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから
抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたま
らないように清掃する

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損
や、破裂による火災・けがの原因となることがあ
ります。次のことは必ずお守りください。

-  • 本機で指定されている電池以外は使用しない
-  • 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出
しておく

⚠ 注意**コネクター部への接続**

 コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして控えを保管してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意**不安定な場所に置かない**

 ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

- 
- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
 - 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

 プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながらご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンターパートにクリップやピンなどを落とさないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(72ページ)をご覧になり、プリンターヘッドをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こすことがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

もくじ

こんなことができます	9
準備編	10
各部の名前とはたらき	10
本機を使う前の準備	12
電源について	13
乾電池で使う	13
データの保持について	14
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	15
電源を入れる・切る	15
オートパワーオフ(節電)機能について	15
印刷する文章の作り方について	16
インクリボンカセットを取り付ける/取り外す	17
インクリボンカセットを取り付ける	17
インクリボンカセットを取り外す	18
キーのはたらき	19
キーの表記について	20
画面の見方	21
おためし印刷編	22
ディスクに印刷する	22
ディスクの上下2カ所に印刷する	26
終了する	27

データ作成編	29
ディスク印刷データと印刷エリアについて	29
ディスク印刷データとは？	29
印刷エリアとは？	29
ディスク印刷データ作成の流れ	29
操作の流れ	29
新しくディスク印刷データを作る	30
ディスク印刷データの印刷パターンを選ぶ	30
レイアウト(フォーマット)を選ぶ	31
最適な大きさの文字で印刷する (オートフォーマット)	32
入力文字数と印刷サイズ	32
オートフォーマットでデータを作る	33
文字の位置を調整する	33
文字のバランスを整える(文字割付)	33
英数字を美しく割り付ける(プロポーショナル)	34
ロゴ付きのデータを印刷する	35
内蔵ロゴデータの種類	35
ロゴ付きデータの印刷例	36
ロゴ付きデータを作る	38
フレーム付きのデータを印刷する	38
フレーム付きデータの印刷例	39
作成したデータを登録する・呼び出す	39
データを登録する	39
登録したデータを呼び出す	40
登録したデータを削除する	40

入力・編集編	41	
カーソルのはたらきと動かし方	41	すべての文字を消す(文削除) 51
ローマ字入力?それともかな入力?	42	間違った文字を直す 51
ローマ字入力とかな入力を切り替える	42	文字が抜けていたら 52
入力する文字の切り替え方法	42	書体(フォント)を変える 53
ひらがな・カタカナの入力	42	<input type="checkbox"/> 入力済みの文字の書体を変える 53
アルファベット(大文字・小文字)の入力	42	<input type="checkbox"/> 電源を入れたときの書体を決める 54
ひらがな・カタカナの入力	43	文字を目立たせる 55
ひらがなの入力	43	<input type="checkbox"/> よく使う語句を登録する/呼び出す
カタカナの入力	43	<input type="checkbox"/> (プリセットタイトル) 56
いろいろな文字の入力方法	44	<input type="checkbox"/> プリセットタイトルを呼び出す 56
漢字の入力	44	<input type="checkbox"/> 新しくプリセットタイトルを作る 56
文章を入力してから変換する	44	<input type="checkbox"/> プリセットタイトルを修正する 57
同音異義語を変換する	45	<input type="checkbox"/> プリセットタイトルを削除する 57
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)	46	入力した文字をコピーする・貼りつける
アルファベットや数字の入力	47	<input type="checkbox"/> (コピー・ペースト) 58
アルファベット(大文字)の入力	47	<input type="checkbox"/> 文字をコピーする 58
アルファベット(小文字)の入力	48	<input type="checkbox"/> コピーした文字を貼りつける(ペースト) 58
数字の入力	48	オリジナルの文字(外字)を作る 59
記号の入力	48	<input type="checkbox"/> はじめから自分で作る(新規作成) 59
キーに印刷されている記号	48	<input type="checkbox"/> 本機にある文字を利用して作る(参照作成) 60
その他の記号	49	<input type="checkbox"/> すでに作ってある外字を修正する 60
絵文字の入力	49	<input type="checkbox"/> 外字を使う 60
文字を修正・削除するときは	50	<input type="checkbox"/> 登録した外字を削除する 61
間違った文字を消す	50	イラストデータや画像をパソコンから取り込む 61
		<input type="checkbox"/> イラストデータや画像を取り込む 62

設定編 65

設定を変える 65

設定できる項目	65
ブザー音を消したい	65
画面の明るさを変えたい	65
印刷の濃さを変えたい	66
サンプルデータを印刷する(デモ印刷)	66

付録 69

電源について 69

ACアダプターを使う	69
------------------	----

パソコンと接続する 71

AC アダプターで接続する	71
---------------------	----

お手入れの方法 72

こんなときは(トラブルシューティング) 72

エラーメッセージ一覧 74

ローマ字入力一覧 77

記号・絵文字一覧 79

フレーム一覧 81

フォーマット一覧 82

内蔵漢字一覧 84

仕様 89

別売品一覧 90

索引 91

保証・アフターサービスについて 93

お客様ご相談窓口 96

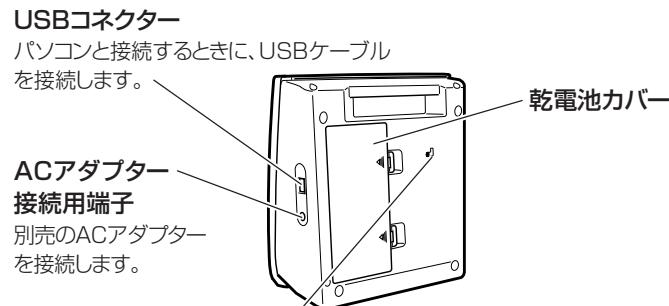
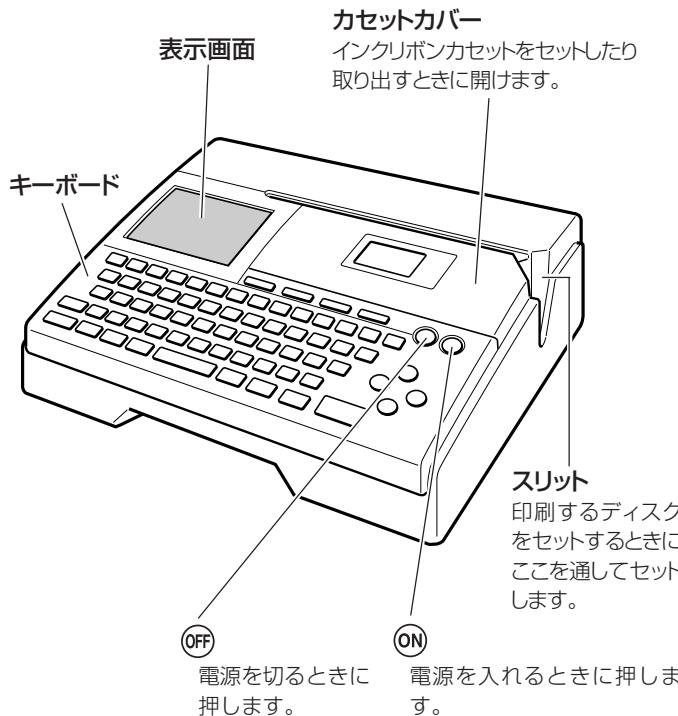
こんなことができます

ディスクに文字やロゴを簡単に印刷することができます。

豊富なレイアウトを使って、バリエーション豊かな印刷ができます。イラストやフレーム(38ページ)も印刷できます。



各部の名前とはたらき



強制ヘッドリリースレバー
本機の故障などでディスクが取り出せなくなった場合は、以下の操作をしてディスクを取り出してください。

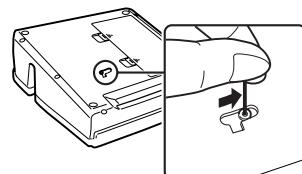
- ① **OFF** を押します。
- ② **D↓** と **H<** を押したまま、**ON** を押します。

この操作をしてもディスクが取り出せないときは、以下の操作をしてディスクを取り出してください。

本機が故障し、ディスクが取り出せなくなったとき以外は、絶対にこの操作はしないでください。

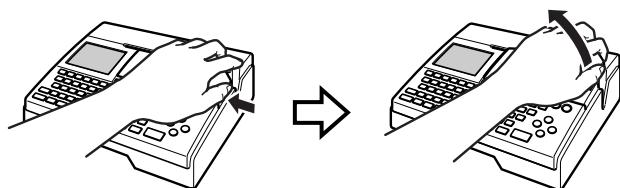
- ① 先の細い棒*のようなものをこの穴に差し込んで、矢印の方向に動かします。ヘッドが印刷開始時の位置に戻り、ディスクを取り出せます。
- ② リリースレバーは自動的に元の位置に戻ります。

* 長さ30mm以上、太さ1.5mm以内のものをお使いください。
つまようじなど先の折れやすいものを使わないでください。故障の原因となります。



■カセットカバーを開ける／閉める

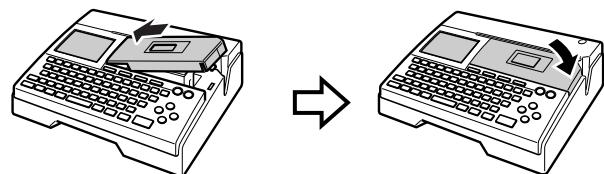
インクリボンを交換するときは、カセットカバーの端を押してカセットカバーを開けます。



閉めるときは

カセットカバー左端のフックを差し込んでから、カセットカバーを閉めます。

- ・カセットカバーは「カチッ」と音がするまで押してください。



「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

本機を使う前の準備

乾電池のセット

またはACアダプターの接続

13ページ
69ページ

…購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください（15ページ）
・メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なないときはメモリーの初期化はしないでください。

インクリボンカセットの取り付け 17ページ

データを作る 22、30ページ

印刷する 24ページ

電源について

本機を使うときは、電源としてアルカリ乾電池または別売のACアダプターを使います。

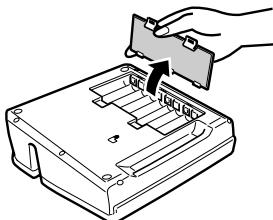
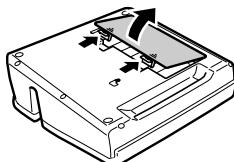
- ACアダプターの使い方は、69ページをご覧ください。

乾電池を使う

同梱の単3形アルカリ乾電池を8本使用します。(故障の原因になりますので、必ずアルカリ乾電池をご使用ください。)

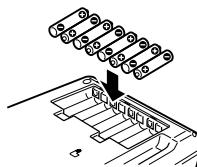
1 本体裏側の乾電池カバーを取り外します。

乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。

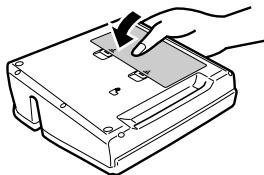


2 乾電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 乾電池カバーを取り付けます。



- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源がOFFになることがあります。別売のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10°C未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10°C~35°C)の環境に戻してからご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、乾電池やACアダプター(69ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに切り替えをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

電池寿命について

- ディスク約150枚分の印刷ができます。^{*}
(20°Cの標準印刷条件でディスク1枚あたり1回印刷した場合)
- 黒い部分の多い文字や画像を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。
- 付属の電池は、工場出荷時より微小な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

△ 危険**アルカリ電池について**

- アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
- 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 - ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくと失明の原因となります。

△ 警告**電池について**

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
 - 加熱しない、火の中に投入しない
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - 種類の違う電池を混ぜて使用しない
 - 充電しない
- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

△ 注意**電池について**

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

- 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

データの保持について

- 電源が入っているときに、乾電池やACアダプター(69ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**(OFF)** を押します。

2 **[印刷]** と **[取消し]** をいっしょに押しながら、**(ON)** を押します。

「メモリー初期化 実行／取消し」が表示されます。

3 **[実行]** を押します。

メインメニュー画面が表示されます。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。

「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは**(ON)** を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

(ON) を押します。

**DISC TITLE
PRINTER**



メインメニュー



電源を切るには…

(OFF) を押します。

- 画面の明るさを調整するときは、65ページをご覧ください。

オートパワーオフ(節電)機能について

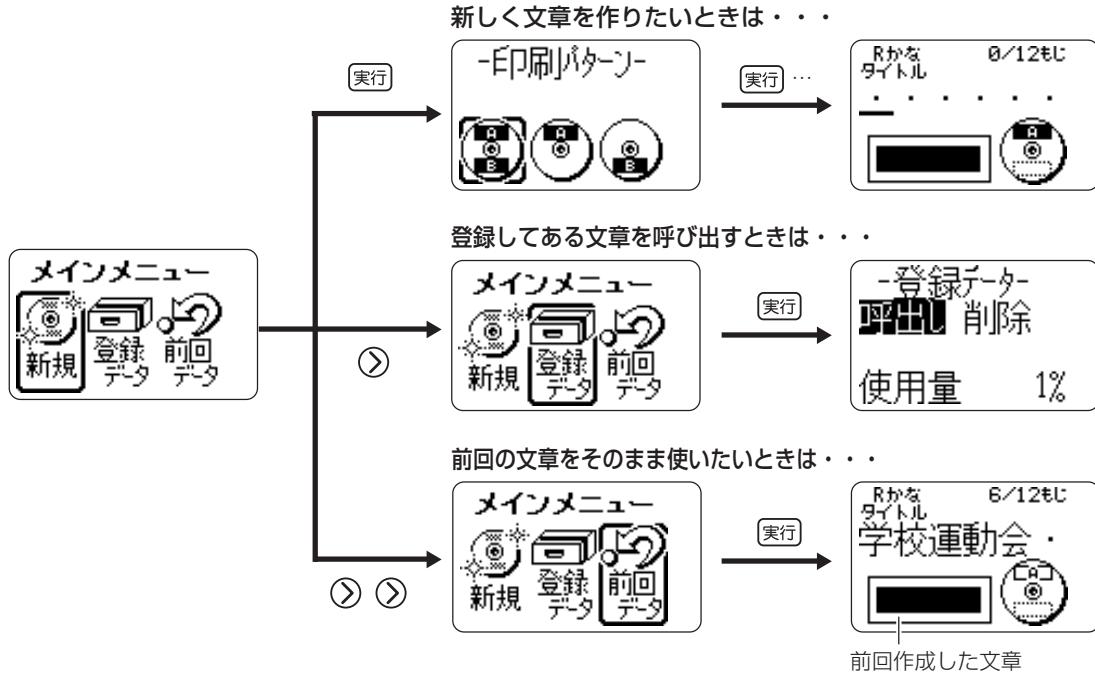
何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

ふたたび本機を使うときは、**(ON)** を押してください。

- ACアダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方として、次の3つがあります。



- デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは登録してください。
(データの登録→39ページ)

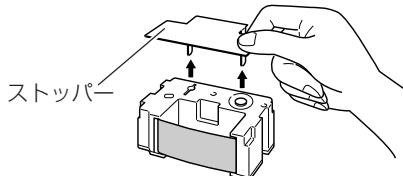
インクリボンカセットを取り付ける/取り外す

ディスクの表面に印刷するときには、インクリボンカセットが必要です。専用のインクリボンカセットをお使いください。(別売品一覧→90ページ)

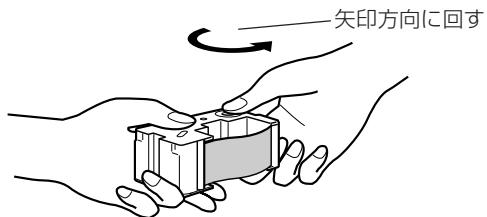
インクリボンカセットを取り付ける

1 カセットカバーを開けます。(11ページ)

2 インクリボンカセットからストッパーを取り外します。

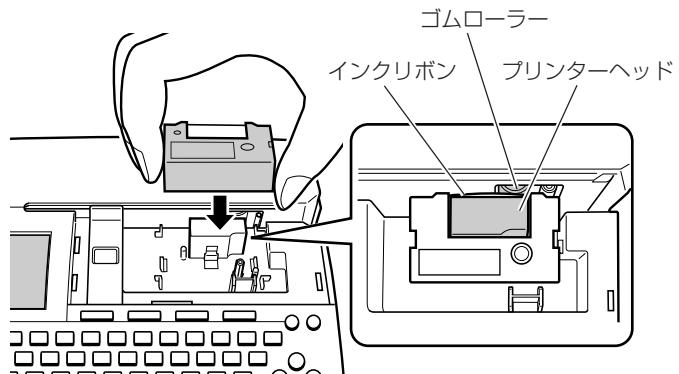


3 インクリボンがたるんでいる場合は、イラストのように指でインクリボンカセットの軸を回し、たるみを取ってください。
たるみが大きい場合は、軸を何回か回してください。



- 重要 • インクリボンを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- たるんだ状態でインクリボンカセットを取り付けると、故障の原因となります。

4 インクリボンカセットをセットします。
インクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通りるように取り付けます(下図)。インクリボンカセットはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。



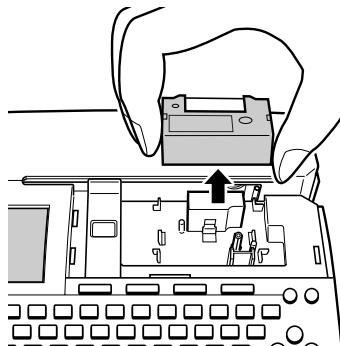
重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

5 カセットカバーを閉めます。(11ページ)

インクリボンカセットを取り外す

1 カセットカバーを開けます。(11ページ)

2 インクリボンカセットの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。



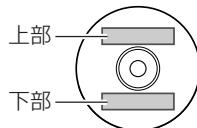
3 カセットカバーを閉めます。(11ページ)

使用中のインクリボンカセットを保管するときは

使用中のインクリボンカセットを保管するときは、ストッパーを取り付け、インクリボンカセットが梱包されていた袋に入れてから箱にしまい、ごみ・ほこりのつきにくい場所に保管してください。

1本のインクリボンカセットで印刷できる枚数

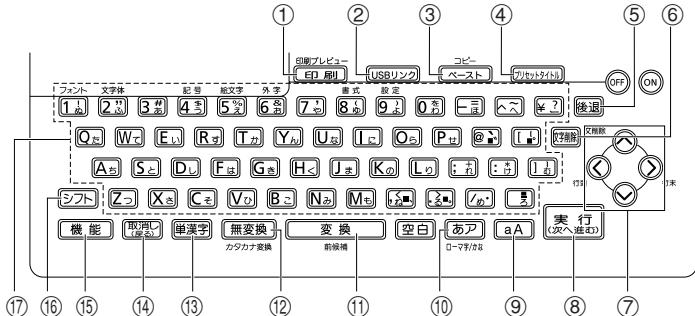
- ・上部または下部のみ…約40枚
- ・上部・下部両方…約20枚



・当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのインクリボンカセットを回収/分解し、再資源化しております。使用済みのインクリボンカセットはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、65ページをご覧ください。

①	 印刷プレビュー	・印刷するときに押す。 ・印刷結果を画面で見るとときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。
②	 USBリンク	パソコンからイラストデータ・画像データを取り込むときや、パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
③	 コピー ベースト	・あらかじめコピーした文字を呼び出して挿入するときに押す。 ・よく使う文字をコピーするときは、コピーしたい文字を入力したあと [機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。(58ページ)
④	 リセットタイトル	よく使う単語や文章を登録するときに押す。 また、登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。
⑤	 後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑥	 文字削除	・カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑦	 ↑ ↓ ← →	・文字が入る位置を示した__や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 ・項目などを選択するときに押す。
⑧	 実行	操作を進めるときに押す。
⑨	 aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(47ページ)
⑩	 あア ローマ字/かな	・ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(43ページ) ・ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。

⑪	変換 前候補	・ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 ・1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫	無変換 カタカナ変換	・漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑬	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑭	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑮	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑯	シフト	・かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(44ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(47ページ)
⑰	(文字キー)	文字を入れるときに押す。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を**1↓**や**実行**などのように表記しています。

例 **1↓**を押したあとに続けて**実行**を押すときの表記



1↓ **実行**と押します。

- 本機のキーの上下または横に**機能**と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能**を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記



機能を押し、指を離してから**設定**を押します。

- 操作手順の中で、「**↖ ↘ ↙ ↘**を押して…」「**↖ ↘**を押して…」「**① ②**を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

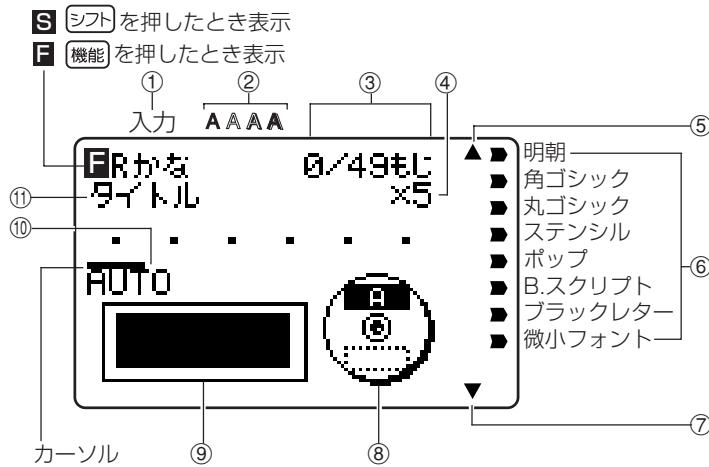
- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは**取消し**を押します。

- 取消し**を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**OFF**を押して一度電源を切れます。**ON**を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見方

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- ・画面の明るさを変えるときは、65ページをご覧ください。



- | | |
|---|--|
| ① | 入力できる文字の種類を示す。(42ページ) |
| ② | 文字体が何になっているかを示す。(55ページ) |
| ③ | 選択した項目に最大何文字入るか、また現在何文字入っているかを示す。 |
| ④ | オートフォーマットを選択したとき、文字のサイズ(倍率)を示す。(32ページ) |
| ⑤ | いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。 |
| ⑥ | 書体(フォント)が何になっているかを示す。(53ページ) |
| ⑦ | いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。 |
| ⑧ | 作成中のデータがどの位置に印刷されるかを示す。(29ページ) |
| ⑨ | 作成中のフォーマットを示す。(31ページ) |
| ⑩ | オートフォーマットが選択されていることを示す。(33ページ) |
| ⑪ | 入力中の項目名を示す。 |

おためし印刷編

ディスクに印刷する

準備ができたら、たぬきに印刷してみましょう。

ここでは、データの作成から印刷までの流れを一通り体験してみてください。

[印刷例]

おためし
印刷編
ディスクに印刷する



1 **ON** を押して、電源を入れます。

前回のデータを使いたいときは、**(④)** を押して「前回データ」を選び、**実行** を押します。

前回のデータが残っていないときは「前回データ」は表示されません。



2 **(④)** を押して「新規」にし、**実行** を押します。

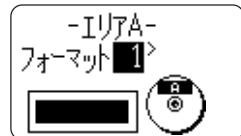
印刷する位置を選ぶ画面になります。
• 詳しくは30ページをご覧ください。



3 **(④)** を押して **(⑥)** を選び、**実行** を押します。

レイアウト(フォーマット)を選ぶ画面になります。

• 詳しくは31ページをご覧ください。



4 画面に「フォーマット1」が表示されていることを確認して、**実行** を押します。

• 画面に「フォーマット1」が表示されていないときは、**(④)** **(⑥)** を押して「フォーマット1」を選び、**実行** を押します。

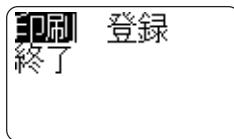


5 「販売実績」と入力して、**実行**を押します。

- 文字の入力方法については、28ページをご覧ください。



6 **実行**を押します。



これで文字の入力は完了です。
続いて、ディスクに印刷します。

いろいろな文字にしたい

- 文字の入力中に、必要に応じて次の修飾をすることができます。
- 書体(フォント)を変える(53ページ)
 - 文字を目立たせる(文字体)(55ページ)
 - 文字の配置を変える(33ページ)

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。

1 **機能**を押し、指を離してから**印 刷**を押します。

- ディスクの上下2カ所に印刷するときは、プレビューするエリアを選択する画面が表示されます。①②を押してプレビューするエリアを選び**実行**を押します。



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行**を押して画面を停止させます。

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- 画面が停止しているとき、①または②を押すと、コマ送りすることができます。
- プレビュー表示を中止するときは、**取消し**を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は、正しくプレビュー表示されない場合があります。
- 文字数が多いとき、または行数が多いときは、プレビュー表示されるまで時間がかかる場合があります。
- プレビュー画面で表示される印刷結果のイメージは実際の印刷と異なることがあります。



■印刷する

- 入力した文字をディスクに印刷してみましょう。ご不要になったディスクなどを印刷のお試し用としてお使いください。
- ・ディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償はいたしません。
 - ・印刷前に同梱の「推奨メディア一覧」をお読みいただき、印刷可能なディスクの種類や印刷時の注意事項についてご確認ください。
 - ・インクジェット印刷専用のディスクには、きれいに印刷できません。
 - ・本体が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-Rには印刷できません。
 - 印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。
 - ・本機を平らな場所に置いて印刷してください。傾いた場所に置くと、正しく印刷できないことがあります。
 - ・インクリボンカセットがセットされていることを確認してください。(17ページ)

1 印刷になっていることを確認して、[実行]を押します。



2 ディスクをスリットに合わせて、右側から左側へスライドしながらセットします。

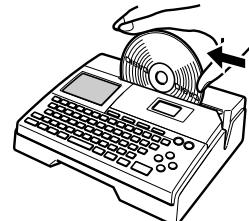
- ・ディスクに印刷したい部分を下にしてセットします。
- ・ディスクメーカーのロゴ等がディスクに印刷されている場合、印刷されている面が見えるようにディスクをセットします。



- 重要**
- ・ディスクをセットするときは、無理な力を加えないでください。ディスクが破損する恐れがあります。
 - ・ディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
 - ・表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。
 - ・スリットにはディスク以外のものは入れないでください。

3 ディスクが止まるまで左側に押し込みます。

- ・左側の奥まで確実に押し込んでください。すべてセットするとうまく印刷できない場合があります。



■ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合

ディスク面にロゴ等の印刷済みの文字がある場合は、ロゴ等の部分に印刷することはできません。位置合わせプレートを使用して次のように、位置合わせをしてください。

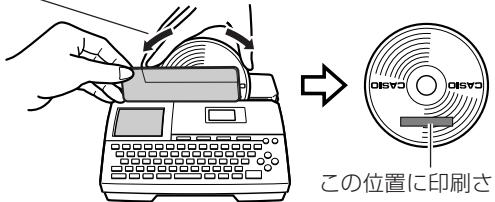
- 印刷面が無地のディスクを使用する場合、以下の手順4の操作は必要ありません。

4 位置合わせプレートを使用してディスクの位置を合わせます。



- 位置合わせプレートはディスクの位置合わせだけにご使用ください。ディスクの位置を合わせた後は、必ず位置合わせプレートを取り外してから印刷を開始してください。

ディスクが止まるまで左側に押し込んだ状態のまま、位置合わせプレートの縁やスリットに対してロゴ等が平行になるようにディスクを微調整します。



5 [実行] を押します。

印刷が始まります。

印刷中はディスクがスリット内を、左から右へスライドします。



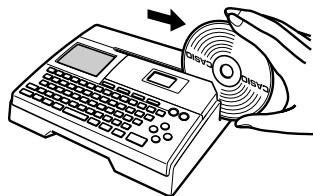
- 印刷中は、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、ディスクの出口付近(スリットの右端付近)をふさがないようにしてください。
- 印刷中に、ディスクには手を触れないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。
- ディスクがセットされているときや、印刷中に、カセットカバーを開けないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。

6 印刷が終了すると、ディスクの動きが止まり、下の画面に戻ります。



重要・ディスクを取り出せないときは、10ページをご覧ください。

7 印刷が終了したら、ディスクを右側へスライドさせて取り出します。



次ページでは、ディスクの上下2カ所に印刷する操作を説明します。印刷操作を終了してメインメニューに戻りたい方は「終了する」(27ページ)にお進みください。

ディスクの上下2カ所に印刷する

「ディスクに印刷する」(22ページ)の手順3で⑤を選べば、ディスクの上下2カ所に印刷するデータを作ることができます。

- ・「新しくディスク印刷データを作る」(30ページ)をご参照になりデータを作成してください。

1 データを作成します。

- ・データが作成できたら、23ページ手順6の画面が現れます。
- ・印刷する前に印刷結果を画面でご確認ください。(23ページ)

■印刷する

操作を始める前に、24ページ「■印刷する」に記載されている注意事項を必ずお読みください。

2 印刷になっていることを確認して、[実行]を押します。



3 ④⑤を押して印刷するエリアを選び、[実行]を押します。

「エリアA」でディスク上部、「エリアB」でディスク下部の印刷をすることができます。

ここでは「エリアAを印刷」を選びます。

4 印刷するディスクをセットします。

ディスクのセットについては、24ページ手順2~4をご覧ください。

5 [実行]を押します。

印刷が始まります。

- 重要**
- ・印刷中は、絶対に電源を切らないでください。
 - ・印刷中に、ディスクの出口付近(スリットの右端付近)をふさがないようにしてください。
 - ・印刷中に、ディスクには手を触れないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。
 - ・ディスクがセットされているときや、印刷中に、カセットカバーを開けないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。

6 印刷が終了すると、ディスクの動きが止まり、下の画面になります。



7 ディスクを取り出します。

ディスクの取り出し方については、25ページ手順7をご覧ください。

- 重要**
- ・ディスクを取り出せないときは、10ページをご覧ください。

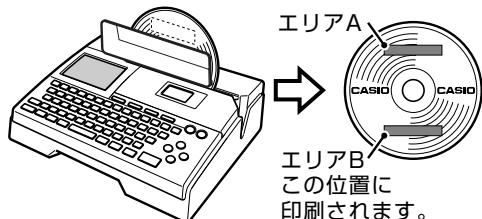
8 [実行]を押します。

9

ディスクの上下を入れ替えてセットします。

エリアAの印字と平行になるように位置合わせプレートを使用してディスクの位置を合わせてください。

- 重要** • 位置合わせプレートはディスクの位置合わせだけにご使用ください。ディスクの位置を合わせた後は、必ず位置合わせプレートを取り外してから印刷を開始してください。



10

【実行】を押します。印刷が始まります。

印刷が終了したら、25ページ手順7をご覧になり、ディスクを取り出してください。

終了する



- 1 上の画面が表示されているときに \nwarrow \searrow \leftarrow \rightarrow を押して終了にし、【実行】を2回押します。
メインメニューに戻ります。



- 「登録」については、39ページをご覧ください。

文字の入力について

■「販売実績」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(42ページ)

あアを何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

H< A_ち N_み N_み B_二 A_ち I_二 変換 を何回か押して、「販売」が
画面に表示されたら 実行

J_ま I_二 S_と S_と E_い K_の I_二 変換 を何回か押して、「実績」が
画面に表示されたら 実行

- 誤った文字を入力したときは、文字削除(50ページ)や後退(50ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(41ページ)をご覧ください。

データ作成編

ディスク印刷データと印刷エリアについて

ディスク印刷データとは？

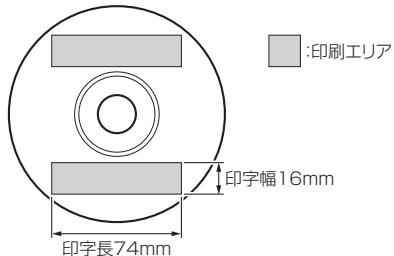
本書では、ディスク印刷の用語について、次のように定義しています。

本機を使って印刷するディスクの面 (ディスクメーカーのロゴ等が印刷されている面)	印刷面
印刷面に印刷する文字やイラスト/画像のすべて	ディスク印刷データ



印刷エリアとは？

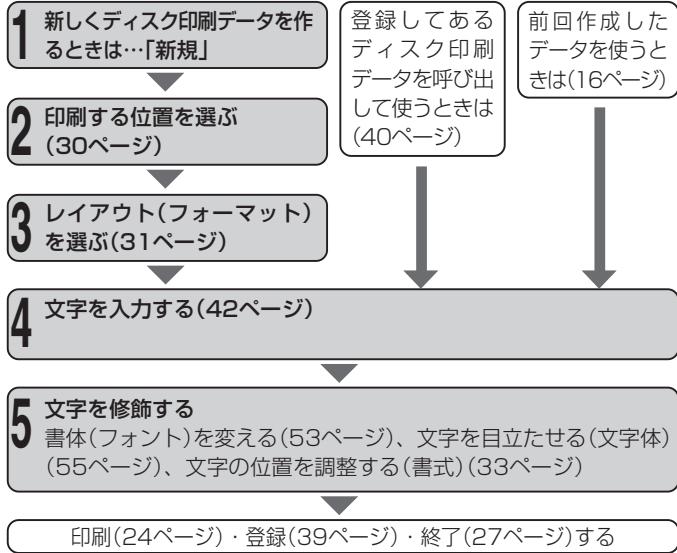
本書では、本機で作ったディスク印刷データを印刷できる場所を「印刷エリア」と呼びます。



ディスク印刷データ作成の流れ

データ作成編では、ディスク印刷データの作り方を詳しく説明します。仕上がりの形を選んだりイラストを入れたりすることで、見栄えの良いディスクを作成することができます。

操作の流れ



新しくディスク印刷データを作る

印刷エリアやフォーマットを選んで新しくディスク印刷データを作成する方法について説明します。

- 登録済みのディスク印刷データを呼び出して使うときは
→40ページ

[印刷例]



1 ON を押して、電源を入れます。

- 前回のデータを使いたいときは、
①②を押して「前回データ」を選び、
[実行]を押して呼び出します。



2 ①②を押して「新規」を選び、[実行]を押します。

- ディスク印刷データの印刷パターン(印刷エリアの組み合わせ)が表示されます。



ディスク印刷データの印刷パターンを選ぶ

ディスク上でのディスク印刷データの印刷パターンを選びます。

■印刷パターンの種類

印刷パターン	エリアA	エリアA	エリアB
印字例	会議議事録	議事録・編集部	議事録・編集部

■印刷パターンを設定する

3 ⑦⑧を押して、印刷パターンを選びます。

ここでは、この印刷バター
ンを選びました



4 [実行]を押します。

印刷面のフォーマット
候補が表示されます



レイアウト(フォーマット)を選ぶ

レイアウト(フォーマット)の種類を選びます。

■フォーマットの種類

フォーマットは、用途や作り方に応じて次の4種類があります(各フォーマットの形や最大入力文字数については、「フォーマット一覧」(82ページ)をご覧ください)。

標準(1~18)…文字のみを入れることができます。

ロゴ付き(1~4)…文字と、内蔵ロゴデータ(32種類)またはパソコンから取り込んだ画像やイラストデータ(4種類)を入れることができます。

- ロゴ付きのフォーマットを選んだときは、「ロゴ付きのデータを印刷する」(35ページ)をご覧ください。

フレーム付き(1~5)…文字と、内蔵フレームデータ(24種類)を入れることができます。

- フレームつきのフォーマットを選んだときは、「フレーム付きのデータを印刷する」(38ページ)をご覧ください。

オートフォーマット(1~2)…行数と入力した文字数に応じて、自動的に文字の大きさが変わります(詳しくは32ページをご覧ください)。

■フォーマットを設定する

5 ⑦⑧を押して、フォーマットを選びます。

ここではこのフォーマット
を選びました。

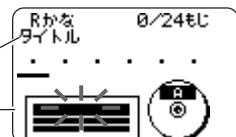


6 [実行]を押します。

文字入力画面が表示されます。

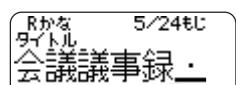
現在入力中の項目名が表示されます

現在入力中の項目が点滅します



- 2カ所印刷できる印刷エリアを選んだときは、手順5~6を再度操作してエリアBのフォーマットを設定します。

7 文字を入力します。



8 [実行]を押します。

次の入力項目名が表示されます

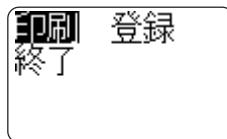


次の入力位置が点滅します

9 手順7~8と同様にして、各項目に文字を入力し、[実行]を押します。

- 30ページの印刷例のようにするには、「ないよう1(営業部第2課)」と「ないよう3(宣伝部第2課)」を右寄せにし、「ないよう2(47~48期)」と「ないよう4(47~48期)」の先頭にスペースを入れて左寄せにしてください。

これで、ディスク印刷データが完成しました。
・印刷については24ページをご覧ください。



最適な大きさの文字で印刷する(オートフォーマット)

入力文字数と印刷サイズ

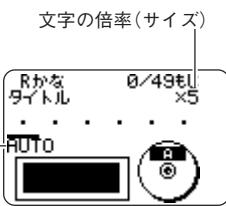
オートフォーマットを選択すると、印刷サイズは入力文字数に応じて下記のように最適なサイズに設定されます。

入力文字数	オート1 (1行用)		オート2 (2行用)	
	表示(倍率)	印刷サイズ	表示(倍率)	印刷サイズ
0~9	×5	15mm	×2	6mm
10~12	×4	12mm	×2	6mm
13~16	×3	9mm	×2	6mm
17~24	×2	6mm	×2	6mm
25~49	×1	3mm	×1	3mm

オートフォーマットでデータを作る

1 フォーマット選択画面(31ページの5の画面)で①②を押し、「オート1」または「オート2」のどちらかを選びます。

- ・「オート1」：1行用
- ・「オート2」：2行用



2 [実行]を押します。

3 文字を入力します。



入力文字数に合わせて、倍率が変化します

4 [実行]を押し、標準のディスク印刷データと同じように印刷します。

文字の位置を調整する

文字のバランスを整えたり、英数字を美しく割り付けることができます。

文字のバランスを整える(文字割付)

文字のバランスを整えることができます。

■文字割付の種類

文字のバランスを整えることができます。

中寄せ

アルバム

右寄せ

アルバム

左寄せ

アルバム

均等

アルバム

■文字割付を設定する

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから[8]を押します。

3 Ⓢ Ⓣ を押して**文字割付**にし、**実行**を押します。



4 Ⓢ Ⓣ を押して、割付の種類を選び、**実行**を押します。

Ⓢ Ⓣ を押すたびに、**右寄せ** **左寄せ** **均等** **中寄せ** と割付の種類が変わります。

5 Ⓢ Ⓣ を押して設定の範囲を選び、**実行**を押します。

- ・**全文**：フォーマット単位で設定されます。
- ・**行**：項目単位で設定されます。

文字入力の画面に戻ります。

英数字を美しく割り付ける(プロポーショナル)

アルファベット・数字を、最適な間隔で割り付けることができます。

プロポーショナルの設定と内容は以下の通りです。

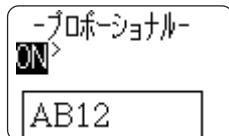
- ON：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する
- OFF：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
- ・本機では、新規作成時は「ON」に設定されています。

種類	印 刷 例
ON	File06
OFF	F i l e 0 6

1 文字を入力します。

2 **機能**を押し、指を離したあと**書式**を押します。

3 Ⓢ Ⓣ を押して**プロポーショナル**にし、**実行**を押します。



4 Ⓢ Ⓣ を押して**ON**にし、**実行**を押します。

文字入力の画面に戻ります。

ロゴ付きのデータを印刷する

ロゴ付きのフォーマットを選べば、次の内容を印刷することができます。

- ・文字
- ・内蔵ロゴデータ
- ・パソコンから取り込んだイラストや画像(取り込むイラストや画像の大きさによって、LONGタイプ：2個/SHORTタイプ：2個の、合計4個)

 パソコンからイラストや画像データを取り込む方法については、61ページをご覧ください。

内蔵ロゴデータの種類



ロゴ付きデータの印刷例

データ作成編

ロゴ付きのデータを印刷する

フォーマット	印 刷 例
ロゴ1	
ロゴ2	国内統括営業部
ロゴ3	国内統括営業部 47上期作成
ロゴ4	国内統括営業部 47上期作成 (48下期まで保管)

■ロゴデータの印刷倍率について

フォーマットとの組み合わせによって、印刷されるロゴデータは下の倍率で印刷されます。

フォーマット	内蔵のロゴデータを印刷した場合	パソコンから取り込んだイラスト/画像	
		LONGタイプ ユーザー1(L) ユーザー2(L)	SHORTタイプ ユーザー3(S) ユーザー4(S)
ロゴ1 (ロゴデータ のみ印刷)	等倍の大きさで印刷 	等倍の大きさで印刷 	等倍の大きさで印刷 
ロゴ2~4 ロゴデータと 文字を印刷	1/2の大きさで印刷 	1/2の大きさで印刷 	等倍の大きさで印刷 

ロゴ付きデータを作る

- 1 フォーマット選択画面(31ページの5の画面)で $\textcirclearrowleft\textcirclearrowright$ を押し、「ロゴ1」～「ロゴ4」のどれかを選びます。

2 [実行]を押します。



- 3 $\textcirclearrowleft\textcirclearrowright$ を押して、印刷したいロゴデータを選びます。



4 [実行]を選びます。

これで、ロゴデータが設定されました。

- ロゴ2～4では、この後文字を入力する画面になります。
- ロゴ2～4で、ユーザー1(L)またはユーザー2(L)の場合は、印刷のときに、「ロゴを縮小して印刷しますがよろしいでしょうか? 実行／取消し」というメッセージが表示されます。縮小してよい場合は[実行]を押して印刷してください。
- 縮小しない場合は[取消し]を押して印刷を中止します。ロゴ1のフォーマットを選ぶか、ユーザー3(S)またはユーザー4(S)を選んでください。

フレーム付きのデータを印刷する

フレーム付きのフォーマットを選ぶと、ディスク印刷の文章にいろいろなフレームをつけることができます。フレームの一覧は81ページをご覧ください。

[印刷例]



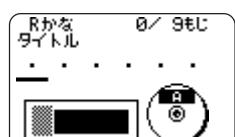
- 1 フォーマット選択画面(31ページの5の画面)で $\textcirclearrowleft\textcirclearrowright$ を押し、「フレーム1」～「フレーム5」のいずれかを選びます。



2 [実行]を押します。

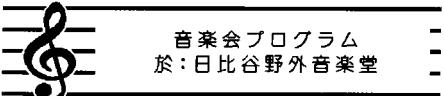
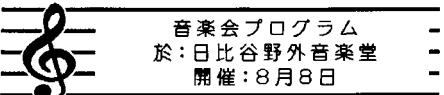


- 3 $\textcirclearrowleft\textcirclearrowright\textcirclearrowleft\textcirclearrowright$ を押して、印刷したいフレームデータを選び、[実行]を押します。



これでフレームデータが設定されました。この後文字を入力する画面になります。

フレーム付きデータの印刷例

フレームマット	印 刷 例
フレーム1	
フレーム2	
フレーム3	
フレーム4	
フレーム5	

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したディスク印刷データをメモリーに記憶しておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

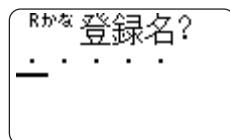
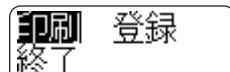
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることもできます。

データを登録する

文字の入力が終了した後、データに名前をつけて登録します。

文字の入力が終わるとこの画面になります

- 1 を押して、**登録**を選び、**実行**を押します。



- 2 登録名を入力し、**実行**を押します。
• 登録名は5文字まで入力できます。



- 3 **実行**を押します。

すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録名

記憶させるときは、作成したデータに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前で探すためです。

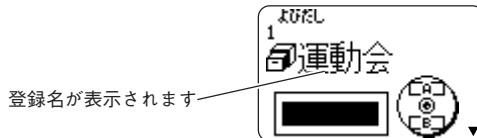
登録したデータを呼び出す

登録したデータは、メインメニューから呼び出します。

- 1 Ⓢ⑦を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2 Ⓢ⑦を押して**呼び出し**を選び、**実行**を押します。



- 3 Ⓢ⑦を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

データが呼び出されます。

必要に応じて、修正や印刷をしてください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、メインメニューから削除することができます。

- 1 Ⓢ⑦を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。

- 2 Ⓢ⑦を押して**削除**を選び、**実行**を押します。



- 3 Ⓢ⑦を押して、削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。

・他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。

・データ削除の操作から抜け出すときは**取消**を押します。

入力・編集編

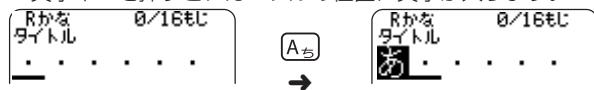
文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方、パソコンからのイラストデータなどの取り込み方についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している_{下線}をカーソルといいます。

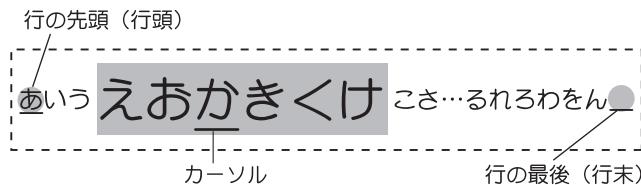
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



■カーソルの動かし方

カーソルは①②を押して動かします。



①	左にカーソルが移動する		
②	右にカーソルが移動する		
機能 [機能] を押し、 指を離してから [←] を押す	行の先頭にカーソル が移動する	機能 [機能] を押し、 指を離してから [→] を押す	行の最後にカーソル が移動する

スクロールとは

画面に隠れている文字を見るためには、①②を押して、隠れている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。
(①②を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面に表すことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

・かな入力とは…

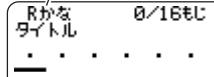
直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

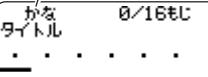
ローマ字入力とかな入力を切り替える

[機能]を押し、指を離してから**[あア]**を押す

ローマ字入力を示します



かな入力を示します



・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず**[あア]**を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

- 1 **[機能]**を押し、指を離してから**[あア]**を押します。
- 2 **↖ ↘**を押して「入力設定」を選び、**[実行]**を押します。
- 3 **↖ ↘ ⌂ ⌃**を押して「かな」または「ローマ字」を選び、**[実行]**を押します。

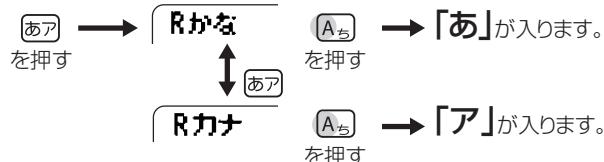
入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
[あア]や**[アア]**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り替えます。

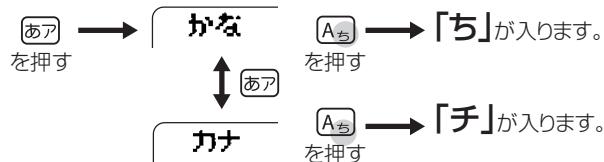
ここでは**[Aア]**を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

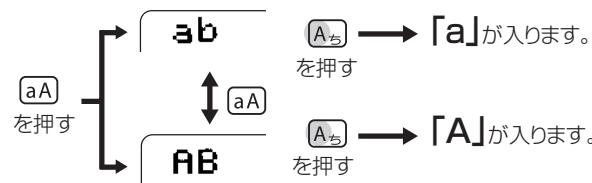
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)の入力



ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

[例] さくら

1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます


2 **Sと Aち Kの Uな Rす Aち**と押します。

- かな入力のときは、**Xき Hく Oう**と押します。

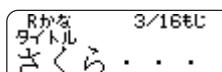


ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。



カタカナの入力

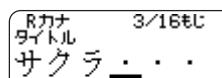
[例] サクラ

1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます


2 **Sと Aち Kの Uな Rす Aち**と押します。

- かな入力のときは、**Xき Hく Oう**と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

②**さくら**となっているときに、**機能**を押し、指を離してから**無変換**を押します。

「さくら」が「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	〔I〕〔t〕か 〔T〕か 〔A〕ち	〔E〕い シフト 〔Z〕つ 〔Q〕ち*
拗音	きょう	〔K〕〔y〕ん 〔Y〕ん 〔O〕ら 〔U〕な	〔G〕き シフト 〔9〕よ 〔4〕ゅ*
濁音	ぼく	〔B〕〔o〕ら 〔O〕ら 〔K〕の 〔U〕な	〔ー〕ほく @〔■〕 〔H〕く
半濁音	ぱぱ	〔P〕せ 〔A〕ち 〔P〕せ 〔A〕ち	〔F〕は 〔L〕 〔F〕は 〔L〕
句点	。	〔.〕	シフト 〔.〕
読点	、	〔,〕	シフト 〔,〕
長音	ー	〔¥〕?	〔¥〕ー
中点	・	シフト 〔/〕め・	シフト 〔/〕め・
を	Wて Oら	〔W〕て 〔O〕ら	シフト 〔C〕お
ん	Nみ Nみ	〔N〕み 〔N〕み	〔Y〕ん
ヴ	「Rカナ」表示のときに〔V〕〔U〕な	「Rカナ」表示のときに〔V〕〔U〕な	〔4〕ゅ @〔■〕
力	Xさ Kの Aち または〔K〕の シフト Aち	Xさ Kの Aち または〔K〕の シフト Aち	シフト 〔T〕か
ケ	Xさ Kの Eい または〔K〕の シフト Eい	Xさ Kの Eい または〔K〕の シフト Eい	シフト 〔:〕け
空白	空白	空白	空白

* [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つやゆよあいう」など促音・拗音にことができる文字に限ります。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(77ページ)をご覧ください。
- .(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、47ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがながら漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行]を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがながら漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- 文章を入力してから変換する
- 同音異義語を変換する(例:公園、後援など)
- 漢字1文字分ずつ変換する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

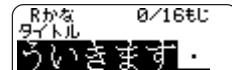
文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。

まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

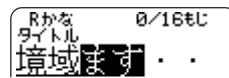
【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 [変換] を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線がついています

3 ⑤を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます

**4** [実行]を押します。

「今日」が確定されます。

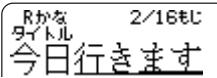
「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

5 ⑤を2回押します。

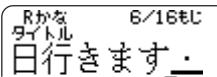
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

**6** [変換]を何回か押して、「行きます」にします。

[変換]を押すたびに、「いきます」に当たる言葉が次々と表示されます。

**7** 「行きます」が表示されたら、[実行]を押します。

「行きます」が確定されます。

**カーソルと下線の違い**

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに[取消し]を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

[変換]

[取消し]

例

きょう

→

今日

→

きょう

「よみ」を入れて[変換]を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(46ページ)

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」(同音異義語)を変換する方法を説明します。

[例] 公園**1** 「こうえん」と入力し、[変換]を押します。

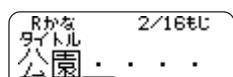
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

**2** [変換]を何回か押して、「公園」にします。

[変換]を押すたびに、「こうえん」に当たる言葉が次々と表示されます。

3 「公園」になったら、[実行]を押します。

「公園」が確定されます。

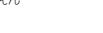
**変換のルール**

まず[変換]を押して、ひらがなを漢字に変換します。

[変換]または⑤を押すと、次の漢字が表示されます。

[機能]を押し、指を離してから[変換]を押す、または⑥を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

・変換候補の順番は、本機の「学習機能」(47ページ)によって変わります。

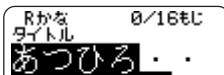


漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

[例] 敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 [変換]を何回か押します。

何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 [単漢字]を押します。

- もう一度[単漢字]を押すと、「あ」に当たる漢字が表示されます。もう一度[単漢字]を押すと、「あつ」に当たる漢字が表示されます。



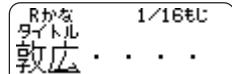
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 ④⑤⑥⑦を押して、**実行**にします。



5 [実行]を押します。

「敦」が確定されます。



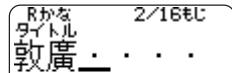
「広」に下線がつきます

6 [変換]を何回か押して、「廣」にします。

- [単漢字]を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、[実行]を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

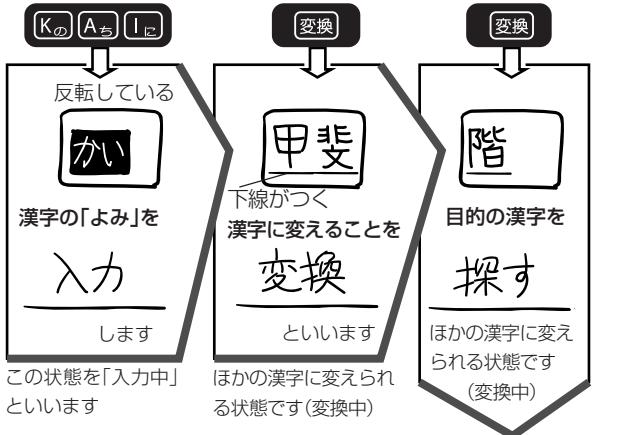
次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している
- 「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- 「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「す」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

まとめ…



本機は学習しています

「かい」という読みを「階」で確定したとします。次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめに表示されます。

これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。

このように、前回使った漢字を最初に表示することを**学習機能**といいます。

ここではじめて文字が入ります

アルファベットや数字の入力

アルファベット、数字の入れ方を説明します。

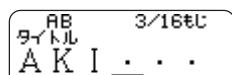
アルファベット(大文字)の入力

[例] AKI

1 [a]を何回か押して、画面の左上に「AB」を表示させます。

2 [A] [K] [I]と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



- ・カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには
画面の左上に「AB」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ: [,] ピリオド: [.]

- ・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
「AB」表示のとき … [シフト]を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります

例 TAKESHI's

- 「a b」表示のとき … [シフト]を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

- ひらがなを入力するときは、[あア]を何回か押して、画面の左上に「日かな」(または「かな!」)を表示させます。

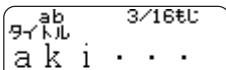
アルファベット(小文字)の入力

[例] a k i

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「a b」を表示させます。

2 [A₁] [K]の [I₂]と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字の入力

[例] 1 2 3

■ローマ字入力のとき

1 [1₁] [2₂] [3₃]と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力のとき

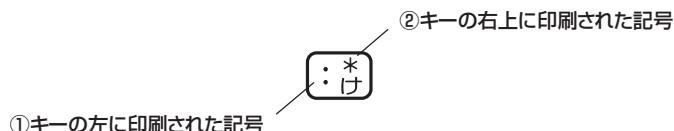
1 [aA]を押して、画面の左上に「a b」または「AB」を表示させます。

2 [1₁] [2₂] [3₃]と押します。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号



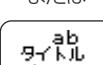
■ローマ字入力の場合

① [:*け]を押すと → 「:」が入ります。

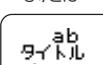
② シフトを押し、指を離してから[:*け]を押すと → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

① [aA] → [AB タイトル] → [:*け] → 「:」が入ります。
または



② [aA] → [AB タイトル] → シフトを押し、指を離してから[:*け]を押すと → 「*」が入ります。
または



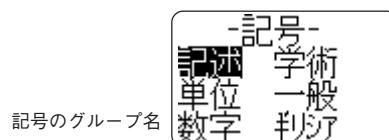
その他の記号



記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。79ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

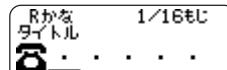
【例】 (グループ=単位・略)

1 **機能** を押し、指を離してから**4番**を押します。



2 を押して**単位**にし、**実行**を押します。

3 を押して**□**にし、**実行**を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。

79~81ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているか確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

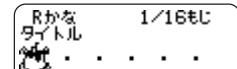
【例】 (グループ=食べ物)

1 **機能** を押し、指を離してから**5番**を押します。



2 を押して**食べ物**にし、**実行**を押します。

3 を押して**□**にし、**実行**を押します。



文字を修正・削除するときは

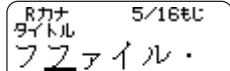
文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す(カーソルの上の文字を消す)

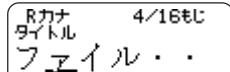
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ◎◎を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 [文字削除]を押します。

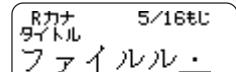
「ファイル」になります。



■文字を1文字ずつ消す(カーソルの前の文字を消す)

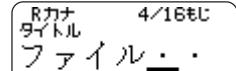
[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 [後退]を押します。

「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

ふふあいるなど、文字に_____が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、[文字削除]または[後退]を押して消します。

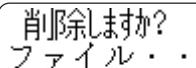
また、[取消]を押すと、_____が重なっている文字がすべて消えます。

すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能**を押し、指を離してから**文削除**を押します。

- ・文削除をやめるときは、**取消し**を押します



2 **実行**を押します。

- ・画面にあった文字はすべて消えます

間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入

文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します（その逆でも可）。

上書き

画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してから**ア**を押します。

<挿 入>

Rかな
タイトル
0/16モード



<上書き>

反転します

Rかな
タイトル
0/16モード

もう一度**シフト**を押し、指を離してから**ア**を押すと、「挿入」状態に戻ります。

[例] 「フェイル」を「ファイル」になおす

■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

1 ◎◎を押して「エ」にカーソルを合わせます。

Rかな
タイトル
4/16モード
フ エ イ ル · ·

2 **文削除**を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

- ・「ア」は**シフト**を押し、指を離してから**A**を押して入力します。

Rかな
タイトル
4/16モード
フ ア イ ル · ·

「ア」が「イ」の前に入力されます

■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

- 1 ①②を押して「エ」にカーソルを合わせます。

Rカナ
タイトル
フェイル · ·

- 2 「ア」を入力します。
「エ」が「ア」になります

Rカナ
タイトル
ファイル · ·

「設定」で切り換えるには

- 機能を押し、指を離してから⑨^{設定}を押します。
- ⑧⑨を押して「入力設定」を選び、実行を押します。
- ①②を押して「上書き」または「挿入」を選び、実行を押します。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることがないようには、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(51ページ)

[例] 「デタ」を「データ」にする

- 1 ①②を押して、「タ」にカーソルを合わせます。

「タ」の前に文字を入力するためです。

Rカナ
タイトル
デタ · · ·

- 2 「ー」(長音)を入力します。

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります

Rカナ
タイトル
データ · · ·

確定前に文字を直したり追加するには…

ひえいるなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文3書体・欧文7書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
亜あ	亜あ	亜あ

■欧文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
AB12	AB12	AB12
ステンシル	ポップ	
AB12	AB12	
ボールドスクリプト	ブラックレター	
AB12	亾廻12	

- メモリーリセット後は、「和文：明朝体」「欧文：明朝体」に設定されています。

・欧文書体は、次の文字が指定の対象になります。

- ・アルファベット(A~Z a~z)
- ・数字(1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
- ・記号の一部(、。？！—～（）￥%スペース)

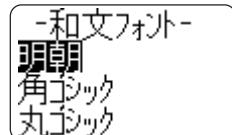
入力済みの文字の書体を変える

[例] ヒーリングMUSIC集

(「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする)

1 文字を入力します。

2 [機能] を押し、指を離してから [1] を押します。



3 ⌈ ⌋ を押して角ゴシックを選び、[実行] を押します。

(和文の書体の種類を選びます。)



4 ⌈ ⌋ を押してAボールドスクリプトを選び、[実行] を押します。

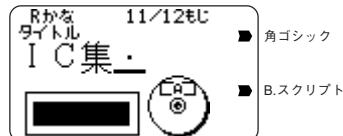
(欧文の書体の種類を選びます。)

5 ◎◎を押して設定の範囲を選びます。

- ・全文：フォーマット単位で設定されます。
- ・行：項目単位で設定されます。

6 [実行]を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 [機能]を押し、指を離してから[設定]を押します。

2 ◎◎を押して初期フォントにし、[実行]を押します。

3 ◎◎を押して和文フォントを選び、[実行]を押します。

4 ◎◎を押して欧文フォントを選び、[実行]を押します。

5 [OFF]を押して一度電源を切り、再び[ON]を押して電源を入れます。

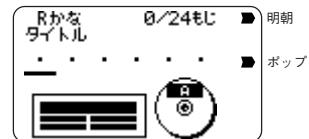
6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

- ・入力中の文字の書体を■で示します。



- ・欧文書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

サイズが2mmの文字は、フォントの指定に関わらず微小フォントで印刷されます。このとき、画面右下に「微小フォント」の■が点灯します。



- 微小フォントには、次のような特徴があります。

- ・フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- ・プロポーショナルの設定は無効です(OFFになります)。
- ・文字体は「標準」と「太字」のみ有効です。「白抜」、「影付」、「立体」を指定すると「標準」で印刷されます。
- ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます(文字体)。

・絵文字・外字は、文字体の指定はできません。



1 文字を入力します。

2 [機能] を押し、指を離してから [2番] を押します。



3 ◎◎◎◎を押して文字体の種類を選び、[実行] を押します。

- ・A標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

4 ◎◎を押して設定の範囲を選びます。

- ・[全文]: フォーマット単位で設定されます。
- ・[箇]: 項目単位で設定されます。

5 [実行] を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

・微小フォントの場合には、文字体は「標準」と「太字」のみ有効です。

「白抜」、「影付」、「立体」を指定すると「標準」で印刷されます。

